



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 アツギ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3529 URL <https://www.atsugi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日光 信二
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 古川 雅啓 TEL 046-235-8107
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,794	6.4	△342	—	△29	—	1,231	—
2023年3月期第3四半期	14,837	△4.8	△1,612	—	△1,014	—	△812	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,701百万円 (—%) 2023年3月期第3四半期 △568百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	76.86	—
2023年3月期第3四半期	△50.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	41,003	32,643	79.6
2023年3月期	40,688	30,932	76.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 32,643百万円 2023年3月期 30,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,800	11.0	△300	—	△100	—	900	—	56.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	17,319,568株	2023年3月期	17,319,568株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,298,300株	2023年3月期	1,296,128株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	16,022,263株	2023年3月期3Q	16,024,420株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行により経済活動の正常化が一段と進む等、緩やかな回復の動きが見られました。その一方で、不安定な国際情勢や、外国為替相場の円安基調等による資源・エネルギー価格の高騰、これらを背景とした物価上昇等、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

繊維業界においては、経済活動の正常化に伴う外出機会の増加や、インバウンド需要の回復等に支えられ、市況は堅調に推移しているものの、物価上昇の長期化による消費者の生活防衛意識や節約志向は根強く、予断を許さない状況が続いております。

このような状況において当社グループは、2023年5月に2023年3月期から2025年3月期までを実行期間とする中期経営計画『ATSUGI VISION 2024』を改訂いたしました。改訂後の『ATSUGI VISION 2024』では、「顧客視点に立脚した価値創りへのシフト」、「ブランド力強化による市場ポジションの明確化」、「企業風土改革による強い組織力の実現」、「従前発想から脱却したビジネスモデルの実現」の4つの新たな課題を掲げて、それぞれの課題に対する戦略を推進しております。あわせて、企業ブランド強化策の一環として、『肌と心がよるこぶ、今と未来へ。』をパーパスに、『肌心地から、感動を生み出すフィールウェアのアツギへ。』をビジョンに制定し、グループ一丸となってこれらを実現するための取り組みを進めております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、猛暑、残暑による秋冬物の初動遅れはありましたが、人流の回復による経済活動の正常化が一段と進んだことにより、売上高は前年を上回る水準で推移いたしました。利益面においては、商品価格の一部見直しを進めたことや、生産機能を中国工場へ集約し生産体制の最適化を図ったことによる製造原価の低減効果により、営業損益は改善傾向にあります。また、改訂後の『ATSUGI VISION 2024』において掲げた政策保有株式の縮減方針に則り、政策保有株式の売却を進めたことによる投資有価証券売却益558百万円、中国の連結子会社における固定資産の譲渡等による固定資産売却益1,270百万円を特別利益に計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,794百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業損失は342百万円（前年同四半期は1,612百万円の損失）、経常損失は29百万円（前年同四半期は1,014百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,231百万円（前年同四半期は812百万円の損失）となりました。

セグメント別の経営成績を示すと、次のとおりであります。

[繊維事業]

レッグウェア分野は、商品価格を適切な価格へ見直しを行ったこと等により、同分野の売上高は8,628百万円（前年同四半期比4.6%増）となりました。

インナーウェア分野は、紳士肌着等が堅調に推移し、同分野の売上高は6,257百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。

これらの結果、当事業の売上高は14,885百万円（前年同四半期比7.1%増）、営業損失は636百万円（前年同四半期は1,896百万円の損失）となりました。

[不動産事業]

保有資産の有効活用を進めており、当事業の売上高は440百万円（前年同四半期比8.4%増）、営業利益は314百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

[その他]

その他の事業につきましては、太陽光発電所のケーブル盗難被害から復旧いたしました。認知症高齢者向け介護施設であるグループホームは堅調に推移しましたが、介護用品の販売は苦戦しました。これらの結果、当事業の売上高は469百万円（前年同四半期比11.7%減）、営業利益は45百万円（前年同四半期比2.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は41,003百万円となり、前連結会計年度末に比べ314百万円増加いたしました。これは主に、棚卸資産の増加1,347百万円、投資有価証券の減少954百万円等によるものであります。

負債の部は8,359百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,397百万円減少しました。これは主に、流動負債のその他の減少1,013百万円、長期借入金の減少352百万円等によるものであります。

純資産の部は32,643百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,711百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加1,242百万円等によるものであります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は79.6%（前連結会計年度末は76.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2023年10月27日公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,787	4,128
受取手形及び売掛金	4,241	3,767
商品及び製品	4,179	5,461
仕掛品	1,029	1,012
原材料及び貯蔵品	635	716
その他	1,713	2,032
貸倒引当金	△24	△25
流動資産合計	16,562	17,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,685	1,596
機械装置及び運搬具（純額）	1,817	1,887
土地	12,011	11,982
建設仮勘定	420	746
その他（純額）	86	76
有形固定資産合計	16,020	16,289
無形固定資産	1,338	1,485
投資その他の資産		
投資有価証券	6,621	5,667
繰延税金資産	0	29
その他	144	438
投資その他の資産合計	6,767	6,134
固定資産合計	24,126	23,909
資産合計	40,688	41,003

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,957	1,669
1年内返済予定の長期借入金	470	470
未払法人税等	138	68
賞与引当金	43	27
その他	2,681	1,667
流動負債合計	5,291	3,903
固定負債		
長期借入金	909	556
繰延税金負債	1,052	1,397
再評価に係る繰延税金負債	1,286	1,286
退職給付に係る負債	967	902
その他	249	312
固定負債合計	4,465	4,456
負債合計	9,756	8,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,000	20,000
資本剰余金	10,272	10,272
利益剰余金	△2,076	△834
自己株式	△1,466	△1,467
株主資本合計	26,728	27,970
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,839	1,817
繰延ヘッジ損益	411	747
土地再評価差額金	388	388
為替換算調整勘定	1,563	1,720
その他の包括利益累計額合計	4,203	4,673
純資産合計	30,932	32,643
負債純資産合計	40,688	41,003

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	14,837	15,794
売上原価	11,036	10,744
売上総利益	3,801	5,049
販売費及び一般管理費	5,414	5,392
営業損失(△)	△1,612	△342
営業外収益		
受取利息及び配当金	228	174
為替差益	299	71
その他	87	80
営業外収益合計	615	326
営業外費用		
支払利息	6	6
租税公課	2	0
その他	8	6
営業外費用合計	17	13
経常損失(△)	△1,014	△29
特別利益		
固定資産売却益	75	1,270
投資有価証券売却益	195	558
特別利益合計	271	1,829
特別損失		
盗難損失	—	18
固定資産除却損	25	1
固定資産売却損	7	10
投資有価証券売却損	0	—
特別損失合計	32	31
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△775	1,768
法人税、住民税及び事業税	74	411
法人税等調整額	△37	125
法人税等合計	36	537
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△812	1,231
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△812	1,231

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△812	1,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	168	△22
繰延ヘッジ損益	146	335
為替換算調整勘定	△70	157
その他の包括利益合計	244	470
四半期包括利益	△568	1,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△568	1,701

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レグウェア	8,248	—	8,248	—	8,248	—	8,248
インナーウェア	5,652	—	5,652	—	5,652	—	5,652
その他	—	0	0	531	531	—	531
顧客との契約から生じる収益	13,900	0	13,900	531	14,431	—	14,431
その他の収益	—	406	406	—	406	—	406
外部顧客への売上高	13,900	406	14,306	531	14,837	—	14,837
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	13,900	406	14,306	531	14,837	△0	14,837
セグメント利益又は損失(△)	△1,896	302	△1,594	46	△1,548	△64	△1,612

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	繊維事業	不動産事業	計				
売上高							
レッグウェア	8,628	—	8,628	—	8,628	—	8,628
インナーウェア	6,257	—	6,257	—	6,257	—	6,257
その他	—	21	21	469	490	—	490
顧客との契約から生じる収益	14,885	21	14,906	469	15,375	—	15,375
その他の収益	—	419	419	—	419	—	419
外部顧客への売上高	14,885	440	15,325	469	15,794	—	15,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	—	0	—	0	△0	—
計	14,885	440	15,325	469	15,794	△0	15,794
セグメント利益又は損失(△)	△636	314	△322	45	△277	△65	△342

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、介護用品の仕入、販売、グループホームの運営及び太陽光発電による売電であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない本社等の土地・建物(転用を検討中の土地・建物を含む)に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。